

# 魚沼市内商工会景況調査報告書

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 魚沼市内小規模事業者  
イ 調査企業数 90 事業所 (うち小規模事業者数 90 事業所)  
ウ 回答企業数 90 事業所 (うち小規模事業者数 90 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

- 平成30年7月～平成30年12月  
(調査時点 平成30年12月1日)

### (3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	17	18.9%	17	18.9%
建設業	16	17.8%	16	17.8%
卸・小売業	24	26.7%	24	26.7%
サービス業	33	36.7%	33	36.7%
合計	90	100.0%	90	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

製造業が一定の改善を見せるが、全体的には悪化している。ただ、建設業では「従業員の確保難」を多くの企業が挙げており、人手不足が問題となっている。仕入れ単価の上昇が販売単価の上昇につながっておらず、思う利益を得られていない様子がうかがえる。

### 【後継者の状況】

後継者ありが約4割、後継者なしが約6割となっている。

後継者 あり	37事業所	41.1%
後継者 なし	53事業所	58.9%

### 【売上高】

前年同期比で▲7.8%、前期比で▲3.3%となっている。ただし、今後の見通しでは▲27.7%と大幅に減少となっており、今後低下する見通しとなっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
26	31	33	25	37	28	5	55	30

### 【採 算】

前年同期比で▲22.2%、前期比で▲16.7%となっている。今後の見通しでは▲25.5%となっており、今後悪化する見通しとなっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
17	36	37	11	53	26	5	57	28

### 【仕入単価】

前年同期比で31.1%、前期比で28.9%となっている。今後の見通しでは35.6%となっており、今後上昇する見通しとなっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
31	56	3	28	60	2	34	54	2

### 【販売（客）単価】

前年同期比で▲11.1%、前期比で▲4.5%となっている。今後の見通しでは▲6.7%となっており、今後は小幅な低下の見通しとなっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
10	57	23	10	66	14	9	66	15

### 【資金繰り】

前年同期比で▲18.9%、前期比で▲16.6%となっている。今後の見通しでは▲21.1%となっており、今後悪化する見通しとなっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
11	51	28	5	65	20	2	67	21

### 【雇用動向】

前年同期比で▲8.9%、前期比で▲6.7%となっている。今後の見通しでは▲2.3%となっており、今後は小幅な低下の見通しとなっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
2	78	10	1	82	7	3	82	5

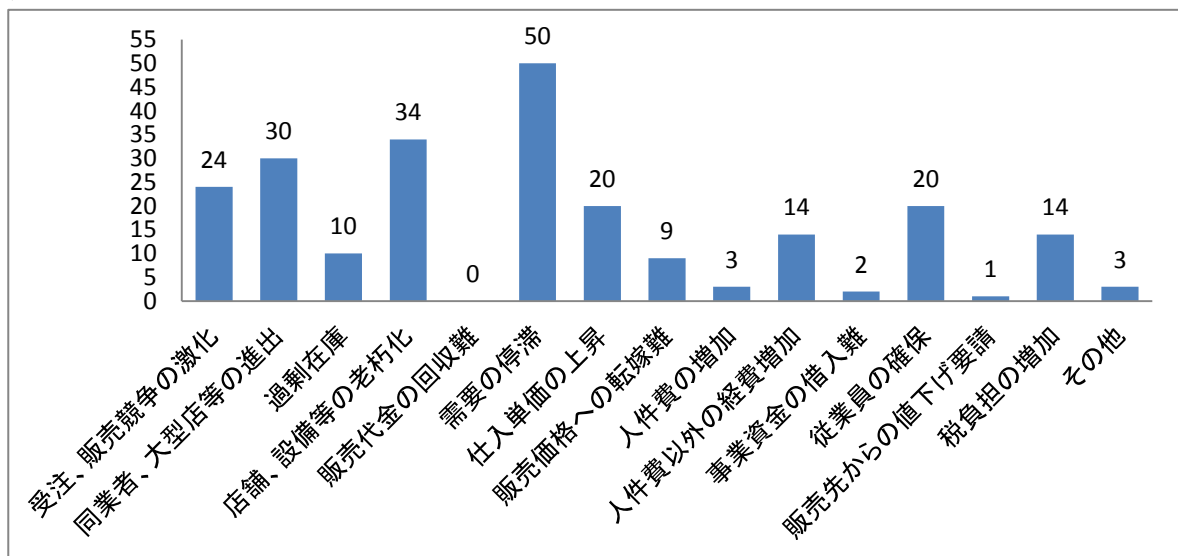
### 【景況判断】

前年同期比で▲35.5%、前期比で▲27.8%となっている。今後の見通しでは▲38.9%となっており、今後は悪化する見通しとなっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
6	46	38	2	61	27	1	53	36

### 【経営上の問題点】

「需要の停滞」が50件（55.5%）と最も多く、以下「店舗、設備等の老朽化」が34件（37.7%）、「同業者、大型店等の進出」が30件（33.3%）、「受注、販売競争の激化」が24件（26.6%）、「仕入れ価格の上昇」及び「従業員の確保」が20件（22.2%）となっている。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

後継者ありが47.1%、後継者なしが52.9%である。  
「売上」「雇用動向」「販売単価」は改善を示したが、「採算」「仕入れ単価」「資金繰り」は悪化を示し、「景況判断」は横ばいとなった。  
来期の見通しでは、「雇用動向」で改善を示すものの、その他の項目で小幅な悪化を予想している。  
「設備等の老朽化」(9件)を課題とする事業者が多く、次いで「需要の停滞」(6件)、「人件費以外の経費増加」(5件)、「従業員の確保」(5件)と続く。

#### (2) 建設業

後継者ありが62.3%、後継者なしが37.5%である。  
「雇用動向」は横ばいを示したものの、その他の項目では悪化を示し、「景況判断」では悪化となった。  
来期の見通しでは、全ての項目で悪化を予想している。  
「需要の停滞」(10件)、「従業員の確保」(8件)を問題点に挙げる事業者が多く、次いで「受注、販売競争の激化」(6件)、「税負担の増加」(6件)と続く。

#### (3) 卸・小売業

後継者ありが29.2%、後継者なしが70.8%であり、後継者不在の比率が最も高い業種である。  
全ての項目で悪化を示し、「景況判断」では悪化となった。  
来期の見通しでは、全ての項目で悪化を予想している。  
「需要の停滞」(17件)、「大型店等の進出」(16件)を問題点に挙げる事業者が多く、次いで「店舗等の老朽化」(9件)、「販売競争の激化」(8件)、「過剰在庫」(6件)と続く。

#### (4) サービス業

後継者ありが36.4%、後継者なしが63.6%である。  
「売上」は横ばいを示したものの、その他の項目では悪化となり、「景況判断」でも悪化となった。  
来期の見通しでは、「雇用動向」で横ばいとしたが、その他の項目では悪化を予想している。  
「需要の停滞」(17件)を問題点に挙げる事業者が多く、次いで「店舗、設備等の老朽化」(12件)、「同業者等の進出」(9件)、「仕入単価の上昇」(9件)、「販売競争の激化」(8件)と続く。

No.	
-----	--

景況調査ヒアリングシート（平成30年度）

調査対象期間 平成30年7月～12月  
(調査時点 平成30年12月1日)

商工会地区	堀之内・小出・湯之谷 広神・守門・入広瀬	担当職員名	
企業の概要	業種	1:製造 2:建設 3:卸・小売業 4:サービス他	
	従業員数	1:0人 2:1人～2人 3:3人～5人 4:6人～20人 5:20人超	
	企業区分	1:小規模事業者 2:小規模事業者以外	
	後継者の有無	1:有 2:無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(H29年7～12月) と比較して	前期(H30年1月～6月) と比較して	今期(H30年7～12月)と 比較した来期(H31年1～6月) の見通し
売上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算(経常利益)	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕入単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販売(客)単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資金繰り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇用動向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景況判断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化
- ②同業者、大型店等の進出
- ③過剰在庫
- ④店舗、設備等の老朽化
- ⑤販売代金の回収難
- ⑥需要の停滞
- ⑦仕入単価の上昇
- ⑧販売価格への転嫁難
- ⑨人件費の増加
- ⑩人件費以外の経費増加
- ⑪事業資金の借入難
- ⑫従業員の確保
- ⑬販売先からの値下げ要請
- ⑭税負担の増加
- ⑮その他 ( )

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

--